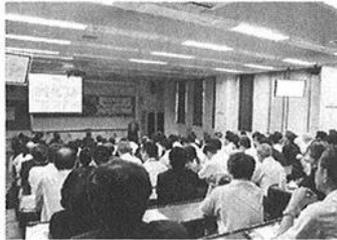


首都高グループと共同研究

東京都市大学

第84回総研セミナー開催

東京都市大学は2日、世田谷キャンパスで第84回総研セミナーを開催した。写真。同大学総合研究所都市基盤施設の再生工学センターは、今月から首都高グループ（首都高速道路、首都高速技術、首都高速道路技術センター）と協力し、産学連携による共同研究部門を開始する。今回はそれを記



を立っていくかが大切。我々は熱心に応援するので、素晴らしい未来に向けて進んでほしい」と挨拶した。首都高速道路の宮田年耕代表取締役専務執行役員は3つの願い事があると切り出し「首都

念してセミナーが開かれた。

第84回総研セミナーの冒頭で東京都市大学の北澤宏一学長は「首都高速道路を20年の東京五輪に向けて信頼できる状態にすること、どういつ計画

高の点検や診断など、そういう技術をさらに上へと伸ばしていくこと。日本全体を見据えて、考えて成果を出していくこと。アジアの諸国に対してそういう技術を浸透させていくこと。首都高グループ全体で頑張っていく」と述べた。

セミナーでは、三木千壽同大学教授から活動計画が説明され、その後教授らによる現状報告の講演があった。研究部門は64年東京五輪の開催時に整備された首都高速道路のインフラに様々な損傷や劣化が目立つようになってきたことを背景に、安全かつ安心して使い続けるための研究と技術開発を目的とし、その力ギとなる点検と診断技術の高度化をめざしていく。

■この記事・写真等は日刊建設産業新聞の許諾を得て転載しています。

無断で複製等、著作権を侵害する一切の行為を禁止します。

学校法人 五島育英会